

2024年4月入学  
岡山大学大学院環境生命自然科学研究科  
博士前期課程  
一般入試・社会人入試 入学試験問題

## 専門科目

地球環境生命科学学位プログラム  
地域環境学コース

### 注 意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題冊子は1冊、解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚です。
- 3 すべての解答用紙の所定欄に受験番号を記入しなさい。
- 4 解答は、各問それぞれ解答用紙の指定されたところに書きなさい。
- 5 共通科目（第1問）は全員が解答しなさい。
- 6 選択科目（第2問）は志望する教育研究分野の1問を選択して解答しなさい。
- 7 試験終了後、全ての解答用紙を監督の指示に従って提出しなさい。
- 8 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。



問題は次のページから始まります。

## 第1問 (共通科目)

表1は、日本の目的別および型式別のダム数を集計したものである。これについて、次の問1～問3に答えなさい。

問1 日本のダムの目的別特徴を理由とともに説明しなさい。

問2 日本のダムの型式別特徴を理由とともに説明しなさい。

問3 ダムは、豪雨に対する防災の役割を担うものも多い。しかし、ダム建設は、コストとそれが環境に与える影響の大きさを考えると、今後も継続することは現実的ではない。そこで、新たなダム建設以外に、あなたが考える豪雨災害を軽減する方法を述べなさい。

表 1 目的別および型式別の日本のダム数

(ダム便覧 2022 より引用・一部改変)

**第2問** (選択科目:①【応用生態学・土壌圏管理学・生産基盤管理学・  
地形情報管理学・農村計画学】)

次の文章を読んで、問1～問3に答えなさい。

(浅野悟史著 (2022) 『地域の〈環境ものさし〉 生物多様性保全の新しいツール』 昭和堂より引用・一部改変)

問1 里山荒廃の二つめの要因として考えられることを記述しなさい。

問2 (1) 下線部①について、里山など既存の生態系に影響を及ぼした外来種の事例をあげなさい。

(2) 上記について、考えられる具体的な対策を述べなさい。

問3 マツ枯れやナラ枯れが起こったのは人間が手を加えてきた二次林である。里山を保全する意義について、生物多様性の観点から自身の考えを述べなさい。